



国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の 開催支援の充実と持続可能な大会への取組の推進

- 滋養をスポーツで元気にするとともにすべての人がともに支え合う共生社会を実現
- 一人ひとりが輝く未来につながる大会を実現

【提案・要望先】財務省、文部科学省、スポーツ庁

1. 提案・要望内容

(1) 開催準備に係る一層の財政的支援

- 健康増進やスポーツの普及に資する国内最大規模の大会として、十分な会場整備や安全安心な運営を目指す中、近年の物価・人件費の高騰、働き方改革関連法による運転手の時間外労働の上限規制(いわゆる 2024 年問題)等、様々な外的要因による開催経費の増大に対応するため、地方スポーツ振興費補助金を増額すること

(2) 持続可能な大会運営に向けた取組の推進

- 3巡目国スポのあり方については、公益財団法人日本スポーツ協会において検討を行っているが、開催自治体の負担軽減や、効率的な競技会運営につながるよう、国としても課題を共有し、積極的に制度改革に関与すること

2. 提案・要望の理由

(1) 開催準備に係る一層の財政的支援

- 両大会の開催経費はその大部分を都道府県および競技会場地となる市町村が負担している中、近年は物価、資材費、人件費等各方面のコスト増加が著しく、その経費負担も地方自治体に大きく偏在。
- さらに、2025 年には同じ近畿圏において大阪・関西万博の開催も予定されている。万博開催にあたっては資材費の高騰や人手不足といった課題が表面化しているが、同時期に両大会を開催する本県は、需要の重複もあり同様の課題を抱える立場。

(2) 持続可能な大会運営に向けた取組の推進

- 両大会の開催に向けた準備を進める中で、都道府県の持ち回り開催としていることや全競技開催を基本としていることに伴い、開催準備に多くの時間と人員を要するなどの課題が存在。
- 「3巡目国スポのあり方検討」については、これまで都道府県に対するアンケート調査と当該報告書の公表があったほか、昨年 10 月にプロジェクトチームの第 1 回会合が開催されたところであるが、開催自治体が抱える課題を共有し、国民の健康増進と体力向上、併せて地方スポーツの振興につながる大会となるよう国の積極的な関与が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 開催準備に係る一層の財政的支援

【国スポ・障スポ開催経費の負担】

本県では、令和6年度から両大会の会場設営等の準備に取り掛かるが、建設資材や輸送経費等の高騰が予想され、開催経費の増嵩につながる可能性が高い。

両大会開催経費について、先催県では国からは開催年度に補助金の交付を受けているが、開催経費に見合ったものとなっていない。



(一財)日本建設業連合会「建設資材高騰・労務費の上昇等の現状」より

【大阪・関西万博との時期重複】

本県両大会の開催年に同じ近畿圏で大阪・関西万博が開催されていることから、需要の重複等、対応すべき課題がある。

《需要の重複による負担増》

- ・バス運転手や警備員の不足、人件費の増加
- ・宿泊施設の不足、宿泊料金増

大阪・関西万博 (R7.4.13~10.13)



滋賀県eExpo 2025

国民スポーツ大会 (R7.9.28~10.8)

障害者スポーツ大会 (R7.10.25~10.27)



(2) 持続可能な大会運営に向けた取組の推進

【開催自治体の取組】

両大会は都道府県の持ち回り開催であるため、開催自治体は開催に係るノウハウの蓄積に苦勞しており、本県では、開催12年前から開催準備委員会を立ち上げ、準備に着手するとともに、事務局組織を段階的に増員・改変して先催県の開催状況を調査するなど多くの時間と人員を費やしている。

【実施競技の硬直化】

国スポの実施競技の選定にあたっては、アーバンスポーツやeスポーツなど広く国民に親しまれている昨今の現状を踏まえ、弾力的な選定方法を検討していくべきである。

担当：文化スポーツ部
国スポ・障スポ大会局総務企画室
電話：077-528-3321